

令和8年1月1日発行／毎月1回1日発行／通巻1051号

総合演劇雑誌

# テアトロ

1  
2026

【批評的エッセイ】言語の消滅と移民問題 江原吉博

【養成ガイド】劇団 KAZE 劇団 NLT 昂 ほか

いまを生きる③④ 坂手洋二

◆連載 心に劇の火を灯せ⑨ 篠本賢一

共創する空間へ④⑤ 西堂行人

【エッセイ】命かけて、闘う！

三條三輪／跡見 梵／池田政之／南保大樹／岡本 章／  
小池雅代／大森勾子／川口啓史／篠本賢一／美崎理恵／  
由起 圭／前田真里衣／江久里ばん

今月選んだベストスリー 377 河野 孝

第38回テアトロ新人戯曲賞募集！

◆戯曲◆

圧倒的人気

山野邊禮

第二部

相澤嘉久治



No. 1051

11月の

関西

## 絶望の中の生氣

兵庫県立芸術文化センター企画製作【明日を落としても】  
 清流劇場【キュクロプス―貧民街の怪物】  
 立ッ鳥会議【そびれるしま】

九鬼葉子

所見、田中孝弥台本・演出。

原作は、トロイア戦争終結後、ギリシアの英雄オデュッセウスが帰途の途中で漂着したシシリー島で、一つ目巨人族のキュクロプスと対決、彼の目を潰して去る話。本作では、田中孝弥の故郷である尼崎市で起きた強制代執行をモチーフに、河川敷で暮らす人々と立ち退きを迫る行政側の人々との葛藤を描く作品に仕上げた。

舞台は、労働者のために河川敷に建てられたバラック。河川工事が終わった後も住み続ける貧しき者達がいた。クズ鉄屋の親方（アンディ岸本）がリーダー格だ。だがオリンピックや万博を控え、行政は立ち退きを迫る。頑なに拒む彼ら。土木建築部長（高口真吾）と部下達は身分を偽り、彼らの中に巧妙に入り込み、個別に説得を試みる。

仮設住宅への入居を勧める彼らだが、親方達は町の人々から差別されており、クズ鉄屋には作業場も必要で、仮設住宅では暮らせない。新しい仕事に就こ

うにも、正当な賃金で雇ってくれる人もない。時代に合わせて変わらうとしない彼らを非難する声に対し、親方は「変わらうとせんのは、ワシらに対するお前らの目えや」と怒る。

社会のルールが正義で、それを守る者が文明人とされ、逸脱せざるを得ない人は野蛮と非難される。その分断への問題提起を作品に込めた。彼らの貧しさの背景には戦争があるのだが、部長は、戦争は御上が決めたこと（＝社会のルール）と語る。現代も続く正義の矛盾を問い掛け、共生社会を唱えながら、排他主義へと傾く現状を突いた。

屋根に描かれた一つ目の絵。「お前らを見てるんや。何をしてきたか。何をしようとしてるんかをな」と親方は語る。だが全員が去り、一人残った親方は、強制代執行の時に怪我を負い、失明する。キュクロプスのごとく。

装置はバラックの骨組み。俳優達が何度も回転させる。世界を反転させることでどちらが正義かを問いかけた。

大阪弁の会話は滑稽味があり、オリ

清流劇場がエウリピデスの唯一現存するサテュロス劇（古代ギリシアで悲劇競演後に上演された滑稽な劇）を原作に、舞台を1961年の兵庫県・武庫川河川敷に移し、大阪弁に脚色した『キュクロプス―貧民街の怪物』を上演（10月17日、一心寺シアター倶楽で

ジナルソング（田中孝弥作詞、仙波宏文作曲）の合唱が爽快。詞は彼らの過酷な状況を表すが、曲調は明るい。彼らの、「それでも、生きたい」と願う生氣が溢れる舞台。